

2009年9月24日

「不妊症」

Q: 今夫婦で不妊治療を受けています。主人は39歳です。今通っている病院で主人を調べてもらい、運動率・奇形率・数など全ての項目で通常の半分には程遠い数字でした。担当のお医者さんからは、体外受精か顕微受精をすすめられているのですが、なかなか踏み切れません。先生が体外受精などをすすめたという事は、人工授精をこのまま続けても望みはないという事なのでしょうか？真剣に悩んでいます。

A: 不妊の原因の4割以上が男性の原因の場合があるように聞いています。今まで原因は女性にあると考えられてきただけに驚きのようなのですが、子作りが夫婦の共同作業であることを考えると当然の結果ともいえます。今回のケースに関しては、個々のケースによって異なりますので、あくまでも考え方だけをコメントさせていただきます。

男性は女性と異なり常に新しい精子を作っています。また、新鮮な状態が必要とされますが、それは、時間とともに液化して溶けてしまうためです。

検査データを見ていただくとわかると思いますが、精子の正常率は30%以上とされていると思います。逆にいえば、半数以上が何らかの奇形の状態ともいえます。高速直進性運動率なども25%以上が普通です。精子は常に作られ変化しています。検査のばらつきも大きいかもしれません。妊娠するには受精が基本となりますので、このためには精子が卵子の透明帯を破っていく必要があります。女性の膜も年齢とともに変化していきますので、精子の透過力もより必要とされます。精子の先端の酵素によって膜をとかして卵子の中に入るので、多くの精子の酵素を必要とします。私どもでご相談の方のデータでも、約15%の方は顕微または体外受精を併用されています。多くの方は、ご主人の問題とご夫婦の年齢を考慮されていると思います。漢方薬を試したことがない場合は、一度ご主人とご一緒に試してみたいかがでしょうか？運動率や受精率が高まることも期待できると思います。